

東海発電所・東海第二発電所における再訓練実施計画について

1. 目的

2020年2月14日に実施した2019年度 東海発電所・東海第二発電所原子力総合防災訓練（以下、「昨年度訓練」という。）において確認された改善事項について、検証訓練により、検討した対策内容が機能していることを確認したことから、昨年度訓練の再訓練を行い、改善が図れていることを確認する。

2. 目標

- (1) 通報連絡訓練において、全ての通報先に確実な通報連絡ができること。
- (2) 即応センター班へ速やかに情報提供ができること。
- (3) スピーカのサポート体制が確保できること。
- (4) 対策内容が発電所本部及び本店本部の運営機能全体に影響を与えていないこと。

3. 実施日

2020年8月7日（金） 13:30～17:00（訓練振り返り含む）

4. 訓練条件

(1) 訓練想定

- ① 平日昼間における東海発電所及び東海第二発電所の同時発災を想定
 - ・ 東海発電所（廃止措置中）
 - ・ 東海第二発電所（定格熱出力一定運転中）
- ② 東海発電所において負傷者及び火災の発生、東海第二発電所において警戒事象（AL）、施設敷地緊急事態事象（SE）、全面緊急事態事象（GE）に至る原子力災害を想定

(2) 訓練形式

- ・ シナリオ非開示型
- ・ プラント情報はフルスコープシミュレータより情報付与

(3) 訓練範囲

- ① 発電所本部と本店本部の立ち上げ及び連携
- ② フルスコープシミュレータとの連携
- ③ 通報連絡訓練（自治体・関係機関等を模擬した通報先を社内に設置）
- ④ 本店即応センターとERCプラント班との連携（予定）